

花屋敷 笑顔だより

第4号

発行/社会福祉法人聖隷福祉事業団 花屋敷せいの里 2002年12月発行
〒665-0808 兵庫県宝塚市切畑字長尾山5-321 TEL.072-740-3388 / FAX.072-740-3980

せいの里 各施設の最高齢の方々



特養1F 濱田さん 99歳



特養2F 吉原さん 105歳



デイサービス 土屋さん 100歳



ケアハウス 颯波さん 100歳

「地域の皆さんに支えられて」
花屋敷せいの里の里は多くの地域のボランティアや市民の皆さまのご支援によって運営がされています。先日最寄りの長尾台小学校の運動会に、特養の入居者八名の方が初めて行かせて頂きました。年間の計画にあったわけではなく、小学校二年生の子供たちの招待状に心動かされ急遽、広田校長先生に連絡をとり、見学に行かせて頂くことになりました。校内にワゴン車を乗り入れて、車椅子を下ろして入居者を数名の職員で介助していると、事前にお願していたわけでもないのに、数名の方が駆け寄ってこられて、職員に代わって車椅子を押して下さいました。それは、ごく自然な振る舞いで、せいの里が地域の皆さまに親しまれ、愛され、溶け込んでいるのがわかる一コマでした。

長尾台、満願寺、ふじが丘の地元三自治会の主催で行われる夏の盆踊りには、毎年ケアハウスの入居者、特養の入居者、職員が多数参加させて頂いています。特設会場にも同様に車椅子を押したりして、特設会場に案内して下さいます。地元六自治会で組織するコミュニティひばりの福祉部の方が中心になって、多数のボランティアを組織して下さって、ケアハウスの喫茶は施設開設以来運営されています。今回はコミュニティひばりの役員会に、特養のボランティア呼びかけのちらし配布をお願いすると快く引き受けて下さり、少しずつ反応が出てきています。その他にも、数え上げれば、とても小さなスペースに入り切らないほど、沢山の皆さまにご支援を頂いています。改めて感謝を申し上げます。

花屋敷せいの里
総園長 本下 博己

ひばり祭り



平成14年10月27日(日)に長尾台小学校にて第6回ひばり祭りが行われました。昨年は雨でしたが、今回はさわやかな秋晴れの中、参加者及び関係者合わせ1300人を超える方が、楽しい一日を満喫することができました。当園の入居者も招待され、地域のボランティアの皆さまの協力により8名の入居者、6名の職員が参加しました。

まずは、兵庫県の大会で銀賞をとった南ひばりが丘中学吹奏学部の演奏を聴かせて頂きました。見事な堂々とした演奏で入居者の方も思わず体でリズムをとられていました。次に、教室の一室をお借りして手作りの温かい豚汁を頂きました。体も気持ちも温まり、本当においしく頂かせていただきました。その後は、園で用意したステキな帽子をかぶり、グラウンドで催されているゲームを楽しんだり、お餅つきを見物したりと思切りひばり祭りを楽しみました。コミュニティひばりの関係者の方をはじめ、ひばり祭りに携わられた地域の皆様方、楽しい一日を本当にありがとうございました。



第2回花屋敷せいの里園内学会



10月18日、25日の2日間、花屋敷ホールにて「第2回花屋敷せいの里園内学会」が行われました。各部署、各ユニットなど13のグループによる研究報告があり、上位のグループは、本年に開催される「聖隷福祉学会」「宝塚地区・聖隷学会」にて研究の成果を発表することとなっています。

上位入賞グループの研究テーマ

- ・「みんなの笑顔が見たいから」デイサービス痴呆型
- ・「よりよい施設環境について考える」運営管理課
- ・「ニーズにあったレクリエーションの提案と充実」デイサービス一般型

ボランティアありがとうございました

● ボランティア記録より 平成14年8月～11月 ●

〈個人〉

酒井 敏子/角岡 ふみ子/高瀬 進之介/東 和子/宮元 静香/梅田 あゆみ/奥田 佳代子/辻 郁子
大坪 清子/金岡 まどか/牧田 けい子/石川 禮子/福西 麻友子/上田 陽子/相井 尚子/高瀬 治子
浦 千代子/近藤 周太郎/濱田 幸子/河田 強/千本 まや

※順不同・敬称略

〈団体〉

ありのままグループ/朗読の会 ほのほの/コミュニティひばり/紫音

※順不同・敬称略

デイサービスより

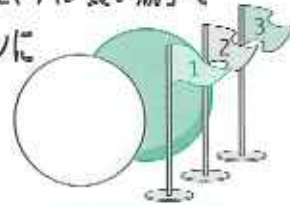
9/9~14 敬老週間



この時ばかりは、いつもはTシャツにジャージの職員も白いブラウスに黒のスカートと装いをあらため、不器用ながらも大正琴を演奏しました。いつもとの変わりように利用者の皆さんも喜んで下さり、職員の拙い演奏にも暖かい拍手を下さいました。

10/21~26 運動会

玉入れ、リレー、大玉ころがし、パン食い競争のプログラムを行いました。応援合戦にも熱が入り、玉入れでは終了の声も聞こえていないほど熱中されていました。また、パン食い競争では日頃腕が上がらない方でもご自身からパンに手をのばされ取られていました。



特養2Fより

秋の外出行事

- ★10月4日と18日に逆瀬川にある「あゆみ保育園」に
- ★11月15日大阪池田にある久安寺に
- ★11月22日あいあいパーク内の喫茶店に

出かけました。



今年は例年にも増して紅葉が美しく、入居者の方々も色鮮やかな木々にうっとり見とれている様子でした。

保育園では子どもたちに囲まれ、みなさんうれしそうに交流を持っておられました。



特養1Fより

劇場内の看板前にて



宝塚初体験の職員たち

1.18
(Mon)

宝塚ファン暦70年の竹見さん

元タカラジェンヌの久保さん

演劇全般に詳しい海道さん

愛に迷える人間たちへ

去る10月8日(火)入居者3名、職員3名で宝塚歌劇を観に行きました。演目は、「エリザベータ〜愛と死の輪舞(ロンド)〜」。宝塚を懐かしく思う入居者、初体験の職員、それぞれの期待と興奮を胸に訪れました。それは言うまでもなく素晴らしい楽曲の数々、魅惑的な構成、大迫力な演出に感動の嵐でした。その感動はあっという間に私たちを魅了し、いつの間にか3時間が過ぎていました。そして余韻冷めやらぬ中、それぞれ思い思いに買い物をし、感動に胸打たれた1日は終わりました。

ケアハウスより



この季節ケアハウスは行事が目白押しです。9月は敬老会、10月は運動会に一泊旅行。11月は文化祭と毎月のように何か起きています。そのあい間を縫ってイベント食や映画会等々、毎月定期的に行っています。もちろん日常生活でのケアも忘れていません。これからもどんどん可能性を追い求めるケアハウスです。